

音楽科における国際理解教育

—— 音楽でつながる日本とアラブ ——

前アブダビ日本人学校 教諭

兵庫県南あわじ市立沼島中学校 教諭 立田 和 弘

キーワード：音楽，日本音楽，和楽器（箏・和太鼓），合唱，鑑賞教材

1. はじめに

「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。」「表現教材は、我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに適切で、生徒の意欲を高め、親しみのもてるものであること。」「鑑賞教材は、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに適切なものを取り扱う。」（中学校学習指導要領より）

音楽教育活動は、西洋の音楽が基盤となっている。我が国の音楽、諸外国の音楽（例：アラビア音楽）を学習するためには、その基礎となる西洋音楽の知識を身につけておく必要がある。

アラブの国の中で、我が国の音楽（日本音楽）と諸外国の音楽（アラビア音楽）をどのようにして織り交ぜて音楽活動ができるかということ、また、アラブの人たちや日本人、諸外国の人々にどのように音楽と伝統文化が伝えられるか、どのように音楽が響くか、ということに焦点を置いた。音楽文化は、国や言葉に関係なく味わうことが可能であるということを確認し、且つ、確認しつつ、各国の特色や独特な部分については、互いに理解を深められるような工夫を行ってきた。その一例を紹介したい。

アブダビ日本人学校は、U.A.E. 政府からの要請により、2009年度よりU.A.E. 国民の子どもを小学部に受け入れている。現在、小学部1年から6年まで10名が在籍している。将来は、日本の高校、大学への留学を考えており、日本語で会話し授業を受けている。

2. 音楽活動と授業実践〈アラブの中での音楽教育活動〉

(1) 音楽鑑賞会・全校音楽

生活の中に音楽は溢れている。しかし、「じっくり音楽を聴く」「音楽を味わう」為には、「音楽を聴く」という時間を設定する必要がある。じっくり音楽を味わい親しんでもらうために、音楽担当者と音楽活動経験者による演奏会を実施した。身近な人物と身近な楽器から音楽に親近感を覚えてもらおうと、音楽鑑賞会を全校音楽として授業を展開した。オペラのアリアや箏曲などを演奏した。



音楽鑑賞会・全校音楽でオペラを歌う

立田先生がイタリア語をしゃべれないと思っていたけど、上手で、本当にイタリア人かと思いました。ほくも立田先生みたいになりたいです。 5年生Mさんの感想（U.A.E. 国民児童）

私は、箏で弾いた「さくら・21」がとても印象的でした。箏の音を初めて聴いたら、音が日本の感じがして、とてもきれいでした。私も弾いてみたいです。 3年生Kさんの感想

(2) アラブのリズムを和太鼓で打つ

アブダビで耳にすることができるアラビア音楽のリズムを打楽器で演奏すること、また、そのリズムと日本のリズムを合わせて演奏することに取り組んだ。打楽器四重奏曲「NEXT GAME」と教育芸術社「中学生の器楽」(教科書)に掲載されている「風にのって」をアレンジし、日本のリズムにアラブのリズムを合わせた演奏を試みた。どちらも太鼓奏者ヒダノ修一さん作曲の曲であり、「NEXT GAME」には、日本のリズム、アフリカのリズム、アラブのリズムが登場する。「NEXT GAME」の中のアラブのリズムを「Samai」と呼んでいる。5拍子という複雑な拍子だが、感をはたかせ、リズム感よく和太鼓を打つことができた。

「Samai」とは、“私の空”という意味だと、アラビア語の先生に教えていただいた。

(3) ニューヨーク大学 アブダビ校 (NYU ABU DHABI) ASIAN NIGHT ~箏の演奏~

ニューヨーク大学アブダビ校 (New York University Abu Dhabi) は、ニューヨーク大学の分校で、2010年アブダビに設立された。世界中から優秀な学生や学者を集め、教育を行っている。ニューヨーク大学アブダビ校に留学している日本人の学生より依頼をうけ、アジア祭のアトラクションとして箏の演奏を行った。日本人学校の児童・生徒、保護者も演奏を見に来てくれた。

立田先生、昨日は箏のパフォーマンスありがとうございました。とてもきれいな演奏でした。音楽専攻の友人も初めて箏の生演奏を聴いて感動していました。またこのような文化交流イベントがあるとき立田先生の家族と日本人学校のコミュニティーを招待します。

この度は本当にお世話になりました。

留学生Kさんのメールより

(4) 震災復興チャリティーイベント~箏の演奏~

2011年4月、震災復興チャリティーイベントが、日本人学校体育館で開催され、箏の演奏を行った。U.A.E.の現地の方々は、和楽器特有の楽譜と指の動きに関心をもっていた。箏の楽譜(生田流)は、縦書きで、漢数字と漢字で表されている。箏は、こと爪を親指、人差し指、中指にはめて、演奏をする。また、箏という楽器に興味をもち、箏を鳴らして体験する方もいた。アバヤを着た女性も挑戦し、日本人学校の児童生徒も曲に挑戦した。男女問わず、楽器に触れ楽しんでいった。

日本人学校の児童・生徒は、音楽の授業で和楽器の取り組みとして、3年間、箏に興味をもって取り組むことができた。簡単な曲を演奏することができるようになった。U.A.E.の国民児童も楽しんで取り組んでいた。



チャリティーで箏を演奏する

(5) 夏祭り集会の「アブダビ音頭」~和太鼓~

夏祭り集会では、「アブダビ音頭」と「八木節」を演奏した。U.A.E. 現地の方の中に、和太鼓の音や響きに関心をもって、声をかけてくださる方がいた。日本人、アラブ人、西洋人関係なくアブダビ音頭を楽しく踊っていた。八木節の演奏には、興味をもって見る、聴く(観衆)、演奏する、踊る(児童、生徒)という活動ができた。

「アブダビ音頭」は夏祭り集会の恒例となっている。

(6) 合唱での国際文化交流

天皇誕生日祝賀会での合唱、翔鷹祭(学習発表会)の合唱、アブダビ日本人会での合唱、ブリティッシュスクールとの交流活動、日本人学校移転記念式典での合唱などさまざまな場面で合唱の発表をした。「美しい響き

と優しさを歌のメッセージで伝える」ということを目標に設定し、合唱の活動に取り組むことができた。

(7) 各学年での授業実践 〈授業の中でのアラブ〉

①鑑賞教材 映画「アラジン」から “新しい世界” — A Whole New World —

ディズニー映画「アラジン」の中の曲。主人公のアラジンとジャスミンが新しい世界を探そうと、魔法のじゅうたんに乗って大空を旅する場面で歌われる曲。シンコペーションによる旋律の流れから、じゅうたんに乗っている場面が想像しやすくなっている。男声と女声の二重唱の響きより、曲の盛り上がりや2人の声の掛け合いを感じ取り、アラジンとジャスミンが歌っている様子を想像することができる。(指導書より)

アラジンとジャスミンがじゅうたんに乗って、歌を歌っているのが頭に思いうかびました。そして、二人が歌っているところがよかったです。また、空を飛んで、歌いながら何か花を見たり、いろいろなしぐさをして見せているのも頭に浮かびました。二人の歌声がとてもきれいでした。とくにアラジンとジャスミンが二人いっしょに歌っているところが、今までで一番良かったです。 3年生Wさんの感想

②歌唱教材 友達シンドバッド

「千夜一夜物語」(アラビアン ナイト)の中の「シンドバッドの冒険」を題材にした愛唱歌。シンコペーションや跳躍進行を多用した、躍動感あふれる曲。8分音符の特徴的なリズムやシンコペーションを感じ取って聴いたり歌ったりすることで、リズムカルな曲に気づくことができる。また、跳躍音程が効果的に使われており、軽快で躍動感のある歌となっている為、リズムを体全体で感じて歌うことができる。歌詞の印象的な言葉から、情景を豊かに想像することができ、主人公の名前や呼びかけるような言葉が使われていることから、それにふさわしい響きのある発声に気をつけて歌うことができる。(指導書より)

どうして、シンドバッドを知っていますか。アラジンや魔法のじゅうたん、魔法のランプ、アリババのお話を知っていますか。僕は、知ってる。(アラビア語の教科書にも出てくるらしい)

4年生Mさんの会話より (U.A.E. 国民児童)

③鑑賞教材 「シェヘラザード」リムスキー＝コルサコフ

「千夜一夜物語」の語り手、シェヘラザードの物語をテーマとして作曲された交響組曲。シェヘラザードを象徴する独奏バイオリンの主題が全楽章でみられる。

第一楽章「海とシンドバッドの船」力強いシャリアール王の主題、ハープ伴奏で独奏バイオリンがシェヘラザードの主題を示している。序奏の後、主部となり、うねるような海の様子に伴奏にのって、海の主題、船の主題が続く。シャリアール王とシェヘラザードの主題が絡み合う。(CDの解説書より)

最初から迫力があって怖い。王様が怒っているみたい。シェヘラザードのところはきれい。話している感じに聞こえる。音の重なりがすごい。大きくて広いイメージ。静かなところから、急に怖いところに進んで迫力がある。

優しくて落ち着いているのだけど、メロディーは何か悲しい感じ。静かに終わるのが意外だったけど、話しているって考えるとじっくりくる。大きな曲だった。 中学部2年生Mさんの感想

3. おわりに

普段の生活の中に音楽は溢れている。しかし、国際理解、音楽文化という観点で、意識を留めておかなければ、音楽は自然と消えてしまうものである。

文学の「千夜一夜物語」はとても有名で、童話としても子供たちに親しまれている。アブダビ日本人学校で行われている読み聞かせの会でも、ボランティアの方に「空飛ぶじゅうたん」を読んでもらった。また、アブダ

ビ教育省派遣の先生お二方に、「アラジンと魔法のランプ」をアラビア語で読んでいただいた。

アラブをテーマとした音楽は、西洋の音楽に多く取り入れられている。例えば、印象派の作曲家、ドビュッシーが作曲したピアノ曲「2つのアラベスク」が有名である。ピアノの教則本としてよく使われているブルクミュラーの「25の練習曲」の中にも「アラベスク」があり、子供たちにもよく知られている。

「アラベスク」とは、美術や建築の分野では、アラビア風の唐草模様、華やかなアラビア風の装飾という意味である。音楽で表す「アラベスク」とは、流麗なカーブでできている旋律線や動きの多い、細かく上下する音型などでできた曲のことを指している。

スペインにあるアルハンブラ宮殿は、イスラム建築で有名である。スペインの作曲家アルベニス、このイスラム建築のアルハンブラ宮殿をテーマとしてピアノ曲を作曲している。

私自身、U.A.E. に赴任するまでは、アラブを意識してこれらの曲を聴いたり演奏したりすることはなかった。アラブをテーマとしたものだという事への意識も低かった。

現在では、ヨーロッパに広められているアラブをテーマとした音楽やイスラム文化の影響を受けた音楽、西洋音楽とアラブとの接点を探しながら、音楽教育を進めている。偉大な作曲家たちがあこがれたアラブにもっと触れ、見聞を広め、研鑽を積むとともに、音楽活動を進めていきたいと思っている。また、日本音楽とアラビア音楽を照らし合わせ、融合させた音楽活動の取り組みも続けようと思っている。

天皇誕生日祝賀会での発表の際には、アブダビ教育省派遣の先生方に、U.A.E. 国歌の歌詞、歌詞の言葉割と発音について指導をしていただいた。U.A.E. 国歌の指導をしていただいたお礼として、日本国歌（君が代）を指導させていただき、児童・生徒と一緒に歌唱の交流活動を行うことができた。大変興味をもって参加していただくことができ、喜んでいただけた。

音楽鑑賞会やニューヨーク大学でのイベントなどで演奏活動を行い、聴いている人と聴かせる側との関係が近いほど、音楽に対しての距離が近く感じてもらえたように思った。3年間通して、箏という日本の楽器をアブダビ日本人学校の児童生徒だけでなく、アラブの方や多くの国の方々に聴いていただくことや知らせることができた。聴いている方々に和楽器を楽しんでいただき、興味をもってもらうことができた。箏と和太鼓を通して、国際文化交流をすることができたと思っている。

日本人会コーラス部の活動では、練習に参加させていただき、指揮と指導をさせていただいた。発表の際には、コーラス部員の子どもたちが、観客席から発表者に合わせて口ずさんでいる様子を見ることができた。それは、休日の練習に、子どもたちが大人と一緒に来ていた為、自然と覚えていたことがわかり、微笑ましく感じ、とてもうれしく思った。合唱の発表終了後、U.A.E. の航空会社の方々からお褒めの言葉をいただいた。

音楽を通して国際交流がもてたこと、日本から遠く離れたアラブの地で演奏活動をする機会を与えてくださったことについて、皆様に感謝している。これからの音楽活動、教育活動では、研修で得たことを生かし、生徒たちに還元するつもりである。音楽を通して国際的な繋がりのもてる生徒を育成し、生徒の将来への一助となればと思っている。



NYU ABU DHABI で箏を演奏する